



東京日々新聞

九百號



花園章庵

駕籠の竿ハ唄杖のつた

床蓐の金鍍物ハ成議

揚々と輝き愚俗の眼ハ驚

トイ医ハ稻荷能人と殺

セとも尾と云ふと古ハ三馬子

口論と云ふ古き川柳と白く三枝

てなるやと殺ありと世の上

内實と穿也洒落夫等ハつと

昔の事みてぐく文明の世に至りて

医学ます盛に困む人の病氣ハ

まゝに上医ハ国と医と言ふ名

医多うつせ中一帯ハ浅草東門代

地嵐とある花園ハ好智ナシけて先くり口

先の相合ハ金物の穿の娘とハ妻ハ嫁ハ難辨ハ

離別ハ持参の而て返さぬ事も教度ハ



渡世の北川と云ふその長女

兄弟の其

来ると縁子手あつ

多妻と嫁と云てり心

こエハとわれハ無報事

柄と云けて密應

温克堂龍吟誌

待乳山蘇

不義言相と難題ト竟我家(迷)歸りを花園是ハ

事と裁判處(赤出)を今日判然とらん

かふち

具足屋

渡辺彫米

萬齋
芳幾重

